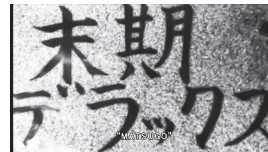


10分以内でああなたの熱い思いを映像で表現してください!!



最終審査員



かわなかのぶひろ

1941年生。60年代より日本の個人映画・実験映画運動を牽引する存在として、100本を超える作品を制作。東京造形大学・イメージフォーラム映像研究所等で後進の指導にも力を注ぐ。よなご映像フェスティバルでは第1回から審査員として参加。  
主な作品に『SWITCH BACK』『絵日記』『私小説』『映像書簡』シリーズ等多数。最新作は『これまでの経緯』『あれから、また、五年』



森達也(もりたつや)

1956年広島生。ドキュメンタリー監督・作家・明治大学特任教授。TV制作会社勤務後フリーとなり、1998年オウム真理教を内部からの視線を交えて描いた『A』、2001年の続編『A2』、2016年ゴーストライター問題を追及した『FAKE』を発表、メディア報道と視聴者のイメージの癒着を根底から覆す手法が高い評価を得る。  
今年秋には新作を発表予定。

What's  
よなご映像フェスティバル

鳥取県米子市で活動する映画映像上映団体が企画・運営する映像の祭典。  
毎年1回開催される。映像作家の、発表の場、交流の場、情報発信の場として始まり、地域における映像文化の振興と発展に貢献することを目的にしている。

応募締切

2019

9/15  
(日)

当日消印有効

募集要項

○時間制限は10分以内です。○ドラマ・SF・アニメーション・ドキュメンタリー・ビデオアート等ジャンルは自由です。○応募方法・・・今年からファイルでの応募も受け付けます。MP4、MOV、MPEGのいずれかの形式でお願いします。もちろん従来通りDVD、ブルーレイでの応募も可能です。ただし、いずれも4Kモードには対応できかねますのでご注意ください。20MB以上のデータ送信の場合は、ファイル便またはギガファイル便などをご利用ください。※ファイル便等をご利用の際はダウンロード可能期間を7日以上にしてください。○応募作品は返却いたしません。ディスク応募の方はコピーをお願いいたします。○他の著作物(音楽・映像等)をご使用の際は応募者個人の責任で処理をお願いします。○応募作品は、当イベント名義で他の映画祭などで上映、テレビ放映する場合があります。○上映後は当実行委員会でライブラリーとして保存します。

審査方法

○応募作品多数の場合、一次審査として事前選考を行います。  
○上映される入選作品は2019年9月末までにWeb上に発表します。  
○フェスティバル当日、入選上映作品の中から、最終審査員が選ぶ各賞(グランプリ・特別賞等)が決まります。

応募先 下記応募用紙にご記入の上、作品とともにお送りください。

〒683-8691 米子支店郵便私書箱 第66号  
よなご映像フェスティバル実行委員会宛

ファイルでの応募は、下記メール宛てにお送りください。  
yonago.eizo.festival@gmail.com

お問合せ先 080-5232-2993 水野

※郵送で応募する場合、郵送料は実費でお願いいたします。 ※ファイルで応募される場合は、下記応募用紙のPDFと作品を合わせてお送りください。  
※ファイル便等をご利用の際はダウンロード可能期間を7日以上にしてください。

詳しくは、Webで! <http://yonagoeizofestival.org/>

よなご映像フェスティバル

検索

フリガナ 氏名	男 女	住所 〒			
電話番号	歳	E-mail			
作家・監督としての氏名 (本名と異なる名前で活動している場合に記載ください)	作品タイトル	制作年	時間	画面サイズ	
作品説明					